

啓北ネット通信

令和2年1月15日 NO. 315

啓北小学校区地域ネットワーク委員会発行



絵手紙のサポーター

11月20(水)～11月28日(木) 各学年を対象に中岡昌子先生をはじめとする絵手紙サークル「いちごぐみ」の皆様を講師とした絵手紙に関する学習を行いました。

授業が始まると、実物投影機を使って、中岡先生が筆の使い方や色の付け方、文字の書き方などのポイントについて説明してくださいました。子どもたちは、中岡先生の筆の使い方や色の付け方などを実際に見ることによって、絵手紙の作り方を理解していました。

絵手紙に描く絵については、例えば、花や果物など、各学年でテーマを設定しています。どのような花や果物などを選ぶのかは子ども自身で決めなければならないため、悩んでいる様子も見られましたが、講師の先生方にアドバイスをいただきながら、子どもたちはイメージを膨らませることができていました。



絵手紙を作るためには、デザインを考える、色を考える、絵手紙に書く文字を考えるなど、考えることがたくさんあるため、大変な作業ではありますが、それだけに面白さがあります。

子どもたちは個性溢れる世界に一つしかない絵手紙作りに熱心に取り組み、作品が完成した後は、「この絵、すごく上手だね!」「ここの葉の色がとても良いね!」というようにそれぞれの作品の良いところを褒め合う姿が見られました。

絵手紙については、3学期の全校制作の作品として、ロビーホールに展示しますので、保護者や地域の皆様にはご来校くださいました際などにぜひご覧下さい。

絵手紙サークル「いちごぐみ」の皆様には、6日間にわたり、お力添えをいただきました。その間、子どもたちが工夫したところなどをたくさん褒めていただきました。子どもたちは、とても楽しく絵手紙に関する学習を行うことができました。「いちごぐみ」の皆様、本当にありがとうございました。

